

平成22年度東北総合体育大会山岳競技ブロック会議 日本山岳協会競技委員会ブロック別研修会報告

山形県山岳連盟 会長 清野 孝

- 1、 日 時 平成22年11月27日（土）～28日（日）
- 2、 場 所 宮城県仙台市太白区『茂庭荘』会議室
- 3、出席者 東北各岳連、会長・副会長・理事長・競技担当者・競技運営員認定希望者
日山協 内藤副会長・永井指導委員会委員長・滝内・原、各競技委員会委員外21名
山形県 清野会長 佐々木副会長
- 4、内 容
 - 1) 開会式 宮城岳連吉田副会長開会、閉会挨拶
宮城岳連浜田会長が主管岳連挨拶、日山協内藤副会長挨拶
 - 2) 東北総合体育大会山岳競技ブロック会議
 - 3) 競技運営員認定研修・競技運営研修を 会場を移し開催、

東北総合体育大会山岳競技ブロック会議について

参加者・各県会長、副会長、理事長、日山協内藤副会長 永井委員長 外15名

- 1) 日山協理事会報告
東北選出理事を代表し山形岳連清野会長より資料により報告（理事会内容は後日登山月報に掲載）
- 2) 第37回東北総体山岳競技実施報告 岩手山協 小山事務局長から資料により、準備について
大会当日について、その他について報告、この中で競技ソフトの扱いについて話題となり、今回千葉国体で活用されたソフトの提供を日山協に要請、福島尾形会長に送付されることになった。
そのほか抗議時間の短縮、競技規則の熟知、競技、審判の事前連携、審判会議と中央総務の役割確認の必要性が話された。
- 3) 第38回東北総体山岳競技の概要説明 宮城岳連 吉田副会長から会場地が未決定であること、開催予定日が8月19日～21日までであることが説明されたが、日程について現行日程が7月であるが宮城県の成年男子選手3名がワールドカップ出場予定の為、3名の選手の東北大会出場により盛り上がりの期待などから8月に変更した旨説明されたが、各県から選手3名の都合により変更、依然8月から7月に日程変更した宮城の理由と整合が取れないことなどのより協議、今後日程変更は開催県の都合で自由に出来るか、日程変更が出来る条件の整備、選手の都合で日程変更が出来るか、など時間を取って協議され結局、7月22日（金）から24日（日）までを大会日程とし、会場は決定していないが今後精査を進めることを良とした。
- 4) 監督、審判員、運営役員等にかかる競技力向上研修が翌日に渡り実施された。

日山協山岳競技委員会ブロック別研修について

競技運営員認定研修は参加者が5名又C級審判員認定研修者1名であり、実の入った研修が行われ時間まで開催された。

閉会はそれぞれ終了時間が異なる為会場別に行われ閉会。

次回開催は 秋田県となる。